

「骨太の方針」

～今後の経済財政運営及び経済社会構造改革に関する基本方針～

国民のみなさまへ

日本経済は大いなる実力をもったランナーです。しかし、これまでリハビリ(構造改革)を怠っていたために、現在、足腰が思うように動きません。したがって、今後2～3年間、集中してリハビリ(構造改革)に励む必要があります。リハビリには痛みがつきものです。何度も挫折の誘惑にかられるかもしれません。しかしこれをサボると、今後、せっかくの実力が発揮できないばかりか、足腰が動かなくなってしまう。いま、頑張ってリハビリに励むことが重要です。リハビリが終了した暁には、日本経済は、慢性病に苦しむことなく、思いっきり実力を発揮して走りだすことができるでしょう。風をきって力強く走りつづけることで、日本経済はますます自信と誇りに満たされます。自信と誇りに満ちた走りは、足腰を強く鍛え、さらに走りは加速します。恐れるものなく走りつづける姿は、美しく、周りに尊敬の念と勇気を与えることでしょう。

7つの改革は、日本経済のリハビリメニューです。今後、日本経済が挫折することなくメニューをこなすことができるか、国民の皆様にも見てもらいたいと思います。そして挫折しそうになったら、声を大にして応援してください。国民のみなさまも是非一緒に頑張りましょう。甘えは禁物です。

また、メニューに対する御注文やこのパンフレットへのコメントがございましたら、下記の内閣府ホームページのご意見・ご感想コーナーをお願いします。

経済財政政策担当大臣
竹中 平蔵

内閣府ホームページご意見・ご感想メール コーナー

<http://www.cao.go.jp/goiken.html>

(経済財政諮問会議の文字をクリックして、ご意見・ご感想をお寄せください)